

七宝の意味・種類 早見表

仏教の七宝(7つの宝)と、七宝文様・七宝焼・七宝繋ぎの意味のちがい

■ 仏教でいう「七宝」7つの宝

宝物名	意味・象徴
金	不変の価値・力強さ・富の象徴
銀	清らかさ・品格を表す宝
瑠璃(るり)	青く透き通る宝石。癒やしの象徴
玻璃(はり)	水晶のように透明できれいな宝
瑪瑙(めのう)	心を整えると信じられてきた石
珊瑚(さんご)	海の宝。生命力や強さの象徴
磤磤(しゃこ貝)	大きな貝の殻で白い光沢が魅力

■ 「七宝」という言葉の使い分け

用語	読み方	意味
七宝文様	しっぽうもんよう	円がつながる伝統文様。ご縁・円満の象徴
七宝焼	しっぽうやき	金属にガラスを焼きつける工芸技法
七宝繋ぎ	しっぽうつなぎ	七宝文様が連続するデザイン
七宝飾り	しっぽうかざり	装飾・帯留め・金具など